

『放課後等デイサービス自己点検及び評価シート』

作成日： 令和5年5月30日

事業所名： わかば七道

		現在の取組内容・今後の改善目標（内容）
1 環境・体制整備	①支援内容にあった指導訓練室・相談スペース等の確保	一軒家の特徴を生かし、複数の部屋を活用して支援に生かしている
	②職員の専門性・配置数 あい・さかいサポートリーダーの配置の有無	今年度新一年生が多く入ってきたこともあり、保育士の存在が重要となり、配置数も充足している。 あい・さかいサポートリーダーは今のところ配置なし
	③送迎体制・添乗員の確保	急な学校都合や懇談などの行事による送迎以外は確保できている
	④合理的配慮の視点に基づく環境整備	日頃よりサッカーなどのスポーツを通じ、地域の子供たちとも交流を行っている
	⑤職員の健康診断の実施	年に一度定期的に行っている
2 業務改善	①アンケート等による利用児・保護者のニーズの把握とフィードバック	アンケートやモニタリング等により保護者、利用児のニーズの確認をし、日々修正、コミュニケーションをとっている
	②職員の支援技術の向上・虐待防止等の研修 （障害児通所支援事業者育成事業利用の有無）	毎月の研修項目にも入れ定期的に行っている 障害児通所支援事業者育成事業も利用経験あり
	③虐待防止等のための責任者を設置	管理者を責任者と決め、研修も内部研修、外部研修等行っているが、研修の数を増やすため日々情報を仕入れている
	④利用児、保護者からの苦情や意見への対応及び事業運営への反映	日頃からのコミュニケーションを心がけることであまり苦情はないが、親の要望や相談などに十分に耳を傾け見直し、変更を行っている
3 適切な支援の提供	①児童発達支援管理責任者による放課後等デイサービス計画の作成（アセスメント・利用児及び保護者の意向確認・計画案の作成・会議開催・計画の保護者への説明及び交付）	しかるべきタイミングで通常とおりに行っているが、支援計画、モニタリング等含め懇談での話し合いだけでなく仕事をされていたり、体調が日々すぐれない保護者様へももう少しコミュニケーションがとれるよううかがう時間を調整、工夫をしたい
	②モニタリングの実施、計画の見直し	日々の送迎時、学校やデイであったことをこまめにメモを取り、計画の見直しに落とし込んでいる

	③個別の課題に対応した活動内容・プログラム	個別に合わせ支援をしながら、全員で行う協調性を養えるプログラムに試行錯誤しながら取り組んでいる
	④ミーティング等の実施	前日にあったこと、当日注意することを話し合い毎日ミーティングしているが、参観懇談等帰りの早い日にも時間を作り行いたい
	⑤支援内容の記録	全員が毎日同じ人に当たらず、利用児全員の細かい反応に気付けるよう書くようにし、原本保管、コピーを保護者にお渡ししている
4 関係機関との連携	①サービス担当者会議への参加（障害児相談支援事業所との連携）	コロナによる行動制限も緩和され、担当者会議も行われるようになったので積極的に参加し、子供たちの日々の状態を共有、話し合い支援に生かしていきたい
	②学校との連携	送迎時やお電話にてお話を聞き、コミュニケーションをとり連携を図っている
	③他の放課後等デイサービス事業所、障害福祉サービス事業所等との連携	大阪市のすみすみ会にコロナ時も毎月ズームで参加し情報共有をさせていただいていたが、堺区域会もコロナが落ち着き再開されるとのことで積極的に連携を図っていきたい
	④（特に医療的ケアを必要とする利用児について）主治医や協力医療機関等との連携・連絡体制	今のところいらっしゃらないが、日々の精神科医への通院時には保護者に連絡を取り情報共有し支援に生かしている
	⑤学校を卒業する際の就労移行支援（引継ぎ等）、就学前施設との連携（情報共有・引継ぎ等）	卒業生が出る中で保護者からのお話や、卒業生からの情報を参考にこれから進学、就労に臨む現役利用児、保護者様への情報共有を行っているすみすみ会等への就労参加事業所からの話を保護者様へつなぐことにより充実を図りたい
	⑥「あい・ふあいる」の活用	相談支援事業所を探しておられる保護者にはお渡ししているが、日々の保護者との話し合いの中で、相談支援が必要と思われる方にも積極的にお勧めしたい
	①事業所で実施している支援（支援内容、プログラムなどを記載してください。）	曜日ごとにプログラムを分け（読書、折り紙、サッカー、習字、裁縫、靴洗い）手先を使い、体を動かし、買い物支援やウォークラリーなどあそびをまじえながら、協調性を養い自分のことは自分でするを目指して支援している

5 保護者への説明責任等	②運営規程、支援内容、利用者負担の説明	契約時にきちんと説明し、変更内容等あれば送迎時懇談時電話等にてご説明している
	③保護者からの相談への適切な対応、必要な助言	電話、ライン、家庭訪問等をその日に行い、解決、情報共有、支援変更等対応している
	④会報の発行等による活動内容や行事予定等の定期的な発信	ラインブログの毎日投稿、ラインブログ終了によりアメーバブログ、ホームページでのブログを毎日更新し情報共有させてもらっている
	⑤日々の支援内容、利用児の様子、おやつ等の保護者への報告	ブログの毎日更新、連絡帳への記載やラインにて保護者にお伝えすることやおやつの内容、利用金額明細を毎月発行している
	⑥おやつ代等実費徴収している費用に係る領収書の発行、精算報告	おやつ内容、原価と請求金額を記載し毎月発行している
	⑦身体拘束を行う場合の決定手順、利用児・保護者への説明、計画への記載	基本保護者からの許可がなければ行わないが、その場合でも保護者への連絡は行う 可能性のある子について計画への記載も行っている
	⑧個人情報の適切な取扱い	パソコンの情報が漏洩しないようにセキュリティをかけたたり、紙媒体の情報は鍵のかかる書庫に直したり、ブログにはモザイク等をかけ個人情報には気を使っている
	6 非常時の対応	①緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の整備と職員、保護者への周知
②非常災害の計画策定、避難・救出・その他必要な訓練の実施		訓練時に見直しを加え、新しいもので訓練を行っている
③ヒヤリハット、事故の事案を収集し再発防止等について事業所内において共有		日々提出されているヒヤリハットを毎月の研修時に情報共有、改善等を行っているが、スピード感が必要なことも多いため日々のミーティング時に行うようにしていきたい

	<p>④サービス提供中の事故を防ぐための取組等</p>	<p>遊びの中でのけがしか今のところはないが、自動車事故やあらゆる事故を想定しないといけない 遊びの中でのけがは動きの想定を上回る突発的なことから起こることが多いが想定内の範囲を広げ注意することで防ぎたい 他の事故に関しても日々アンテナを張ってあらゆる事態に備えていきたい</p>
	<p>⑤感染症対策の実施</p>	<p>適宜新しく変更したものを使っているが、今回のコロナでも修正事項の多い感染症対策のため、コロナに限らず日々修正し、新しいものにしていきたい</p>
<p>7 その他</p>	<p>① 地域との交流</p>	<p>今のところ外活動（サッカー）にて利用児と地域の子とを混ぜて行っているが、去年は利用児対地域の子だったのが半分ずつ混ぜることにより、最初気後れしたデイの利用児も地域の子の積極性が影響を受けいい効果が得られている サッカーだけに限らず今後はイベントにも地域の子を交えて行ってみたい</p>